

# 西栗倉小だより

～ 自信 チャレンジ つながり 自分みつめ ～

令和6年10月8日 NO. 7

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurashogakkou/>



## 高齢者の方へ元気を伝えたい！ ～西栗倉村福祉大会～



9月29日（日）に本校の体育館にて、西栗倉村福祉大会が行われました。

その中で、本校児童が、「西栗倉のお年寄りの方々に元気を送ろう」と、全校合唱を行いました。大原で活動されている「緑の共和国」合唱団とのコラボレーションでした。

この日のために、1学期から定期的に練習を重ねてきた子ども達でしたが、当日は少し緊張もあったようです。それでも、2曲目、3曲目と進む間に、だんだんと調子があがり、声の響きがしっかり伝わるようになりました。最後は恒例の「あいさつタッチの旅がはじまる」でした。振付をしながら歌い、最後は会場の方々とあいさつタッチをしながらの退場でした。

高齢者の方、地域の方、保護者の方、そして、子ども達が一堂に会したこの会の意義をひしひしと感じました。

この会が子どもたちに西栗倉愛を高める機会になればいいなと思いました。

# 西粟倉村教育講演会より

9月30日（月）に、百森広場にて、京都大学総合博物館准教授の塩瀬隆之氏による講演会が行われました。

今回のテーマは、「好奇心の前では皆平等」でした。とっても楽しく、分かりやすくお話しいただきました。

その中で、学校として考えていくことや、親として考えていくことや、子どもの周囲にいる大人として考えていくことが、いろいろとありました。以下に、そのいくつかの内容を掲載しておきます。

ご参加いただいた保護者の皆様、是非、お近くに方々にお知らせください。

- 「ハテナを分かるにかえる学び」から「ハテナからハテナを増やす学び」への転換
- 手を出さず、口を出さず、されど目ははなさない
- 遊びの中に埋もれた学びの機会を奪わない
- 学びは子どもにとって義務ではなく、権利である
- モノの見方は育った地域の文化的風土によって養われる
- 子どもに目標を立てさせてどうこうさせる前に、周囲の大人が子どもに何を届けるのかを考える
- 子どもに答えを言わずとも、大人も分からないことを子どもと一緒にやってみることで、子どもは自ら答えを見つける

## 総合遊具が再稼働！



子ども達が待ちに待った総合遊具の最終点検が終わり、再び使用できるようになりました。早速、子ども達が遊具に集まってきました。1年生は、初めての遊具に興味津々。その他の学年も久しぶりの遊具の使用に喜んでいました。

ただし、混むために遊びのルールの再確認も必要なようです。みんなでルールを守って遊ぶことで安全が確保されます。ルールを守る意義についても学習できるチャンスです。